

本日、ここに「令和 4 年度デマンドサイドマネジメント表彰式」が行われるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターをはじめ、本日御臨席の皆様方におかれましては、日頃より省エネルギー政策にご配慮・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、本日、表彰を受けられる皆様方におかれましては、日頃から電力負荷平準化や省エネルギーに資するシステムの開発・普及に大きな貢献をされており、心から敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

さて、一昨年（2022）年 10 月、政府は、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言いたしました。また、2030 年に向けては、温室効果ガスの 46%削減という野心的な目標を掲げ、この達成に取り組んでいます。脱炭素社会の実現に向けた需要サイドにおける取組としては、産業・民生・運輸の各部門において徹底した省エネルギーを推進すると同時に、先日成立した改正省エネ法のもと、再生可能エネルギー等の非化石エネルギーへの転換を進め、これまでの電気需要平準化を改め、電気需要最適化を推進していきます。

こうした中で、高い省エネルギー性を有することに加え、需要側の上げ DR、下げ DR に貢献しうるヒートポンプ・蓄熱システムといった技術の役割は、ますます重要になっております。電力需要の最適化に貢献する優れたヒートポンプ機器やシステムの表彰を通じて、これらの機器・システムの一層の普及及び社会への啓発を図っていくことは大変有意義なものです。今回受賞された皆様方が、更なる普及に向けた取組を牽引していくことを願ってやみません。

最後に、今回受賞された皆様方、そして一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターの益々のご活躍とご発展を祈念するとともに、更に意欲的な取組が出てくることを期待いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

令和 4 年 6 月 2 日

資源エネルギー庁 省エネルギー課長 江澤 正名